

長崎県五島市岐宿町山内地区での モデル事業(地域管理構想)の取組状況

R5年度より、長崎県五島市岐宿町山内地区において地域管理構想のモデル事業の取組を開始。
R6.1に実施した、地域の課題や資源を把握するためのワークショップを経て地域管理構想（素案）を作成

■対象地域：長崎県五島市岐宿町山内地区

■地区概要：

- ・位置：山内地区は、五島列島最大の島である福江島のほぼ中央部に位置する。五島つばき空港から山内地区まで約17km（車で約25分）の距離。

- ・人口等（R2年国勢調査）：
人口 1,051人 高齢化率 約46%
世帯数 473世帯

- ・地形：周囲を標高400m前後の山々に囲まれ、盆地状の平地には水田が広がる。

■検討体制：五島市地域協働課・岐宿支所・
岐宿まちづくり協議会・やまぼん会（山内
若手事業者の会）



山内地区の風景



【モデル事業の実施に至った経緯】

五島市は、旧市町村単位を基本として、13のまちづくり協議会が発足したが、当時、各種地域団体をまとめることを狙いの1つとしてスタートしたため、団体役員任期が短く、持続的な活動を行うことが困難な状況になっている。

そこで、地域が自ら課題を認識し、その解決に向けて自主的に活動を行う機運醸成と協議会の活性化を進めるため、岐宿まちづくり協議会山内支部を対象に地域管理構想策定を通じた取り組みを行うことを、市から協議会に提案し、協議会から同意を得られたことから、令和5年7月から単年度で実施することで検討をスタートした。

【モデル事業の取組の経過】

- ・ R5. 6月 岐宿まちづくり協議会理事会にて説明および協議
- ・ R5. 7月 市保有データおよび国勢調査等を含めた国保有データの収集・整理
- ・ R6. 1月 地域の課題や資源を把握するためのワークショップの実施
- ・ R6. 3月 地域管理構想（素案）の提案

※以下、今後の予定（市や協議会が対応）

- ・ R6. 4月 岐宿まちづくり協議会へ報告
- ・ R6. 5月～ 成案化に向けた検討の深度化、合意形成 … ※農林水産省 農村型地域運営組織形成推進事業（農村型地域運営組織モデル形成支援）を活用して実施

■五島市岐宿町山内地区における策定プロセス

- ・ 上段に記したとおり、岐宿町山内地区での取り組みは、モデル事業（単年度）で地域管理構想（素案）を作成・提案し、それを受けて市が伴走しつつ地域が主体となって地域管理構想を成案化していくプロセスとなっている。

ステップ①：事前の話し合い・事前準備

R 5. 6月（市が対応）

ステップ②：地域における現状把握と将来予測

R 6. 1月実施

ステップ③：地域管理構想図の策定（土地の使い方を選択する）

※ R 6. 1月に素案作成
R 6年度に検証・成案化

ステップ④：地域における行動計画と地域ルールの策定

※ R 6年度から実施

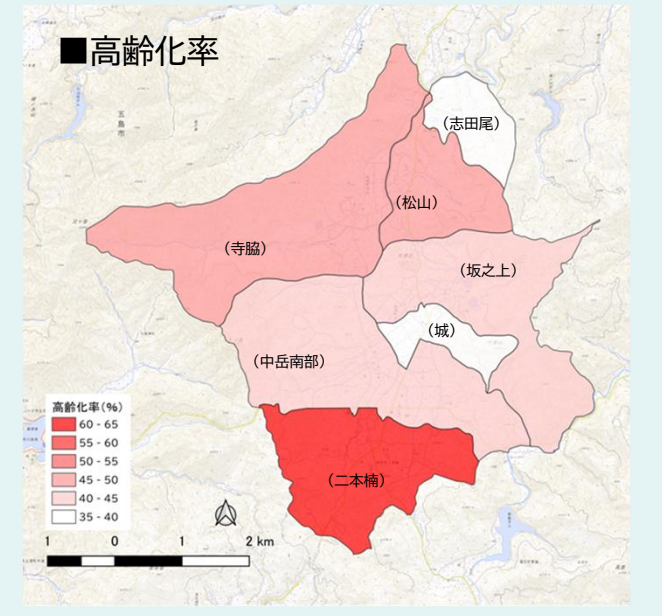
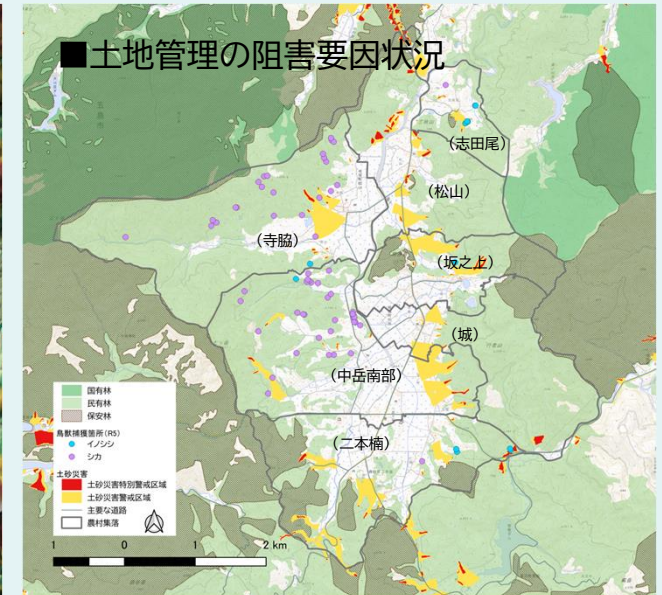
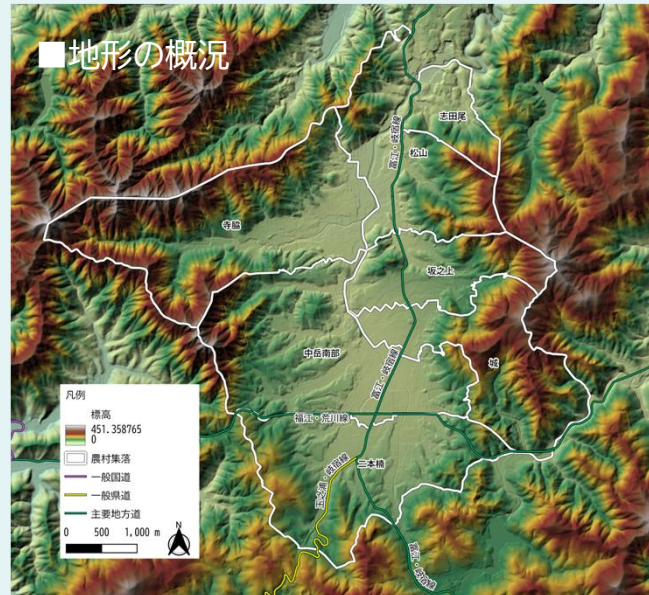
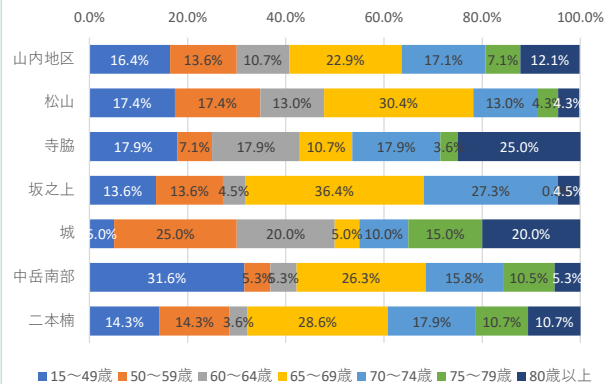
地域管理構想に基づく地域主体の取組の実施（モニタリング・見直しの実施）

- 市提供データ及び国勢調査等のオープンデータから、土地や地域の特徴を把握。
- ワークショップを通じて、住民が感じている課題、課題解決に向けたアイデアなど意見収集。

統計データを活用した現状把握

- ✓ 集落の現状把握：人口及び世帯の推移、年齢構成推移、高齢化率 等
- ✓ 産業活動の状況：就業人口構成、農業従事者年齢、耕地面積推移、農業事業実施状況 等
- ✓ 土地の基礎情報：地形、土地利用規制状況
- ✓ 土地管理の阻害要因：鳥獣被害状況、土砂災害

集落別基幹的農業従事者の年齢割合



地域の課題を把握し、課題解決のアイデアを考える

《岐宿まちづくり協議会山内支部ワークショップ》

【日時】令和6年1月20日（土）19時～

【場所】岐宿町公民館山内分館

【参加者】

- ・地域住民等 : 19名
- ・アドバイザー : 1名（非特定営利活動法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜千穂氏）
- ・オブザーバー : 2名（長崎県五島振興局）
- ・事務局スタッフ等 : 7名（五島市、国土交通省※、コンサルタント）※web参加

【内容】

- 講演（農村RMOについて）
- ワールドカフェ方式のワークショップ
（テーブル毎に地域が抱える課題を共有し、課題解決のためのアイデアを考える）
- テーブル毎に一押しアイデアを発表
- アドバーザーによる講評

■テーブルワーク結果



▲若菜氏講演



▲アイデア発表



▲ワークショップ風景

■意見のまとめ

強み（地域の魅力・資源）			弱み（地域の問題点）		
水がおいしい	地域の風景（夕日、水田のリフレクション）	園地整備済地区は農地が荒れていない	子どもの遊び場がない	鳥獣被害が多い	耕作放棄地が多い
診療所があるので安心	若者が多い（？）		高齢者の見守りができない	移動スーパーが利用できない人がいる	農業の担い手不足
山口商店	子どもが多い ・幼稚園児75名 ・小学生110名 ・中学生807名		独居高齢者が多い		身近な店舗が無くなった
付加価値の高い農産物と五島牛			伝統文化の衰退（獅子舞）	観光スポットがない	
100円直売所が増加している			イチゴ農家の後継者がいない	空き家が多い	移住者などの環境整備
タヌキアヤメ（寺脇地区）	旧山内小学校校舎	移住者は多い ⇒wifi環境 よそのもの受け入れ環境	高齡化 ⇒農地の跡継ぎ問題 ⇒森の管理 ⇒空き家管理 ⇒みまもり		
金山があったようだ（松山地区） 水品が採れる？	五島市（福江島）の中心地、十字路				
茶々子姫の道跡	山に囲まれている（田園風景を一望できる）展望台	ちよいとその利用が芳しくない			
機会（活かされていない資源・強み）			脅威（将来顕在化すること）		

○統計データやワークショップを通じて明らかになった課題解決に向けて、土地利用の方向性とそれを反映した地域管理構想図等の素案を作成

土地利用の方向性(案)

○農業事業実施状況など農業生産活動の状況や、土地の管理にかかる課題を踏まえ、5つのゾーンを設定

※ゾーン設定は、地域で自発的な取り組みが可能な範囲を対象

① これからも積極的に営農活動を行っていくゾーン

- ・農業事業等が実施されている、農用地区域内農地等を対象

② 地域コミュニティや地域での生活を維持・改善していくゾーン

- ・既存集落地を対象

③ 地域活動の安全・安心を支えるゾーン

- ・鳥獣被害対策を考慮し、水辺周辺（ため池や河川）や集落地後背森林を対象

④ 今後の営農活動のあり方を検討するゾーン

- ・農業振興地域非農用地区域内の農地を対象

⑤ 産業活動を支え、周辺との良好な関係を維持する大規模施設が立地するゾーン

- ・生産活動などまとまった土地利用が行われている場所、大規模施設が立地している場所 など

■管理構想図（素案）

